

# VJ-2638/1638/1638W 取扱説明書 正誤表

取扱説明書の記載内容の一部に変更があります。

下表を参照のうえ、ご確認ください。

## 参 考

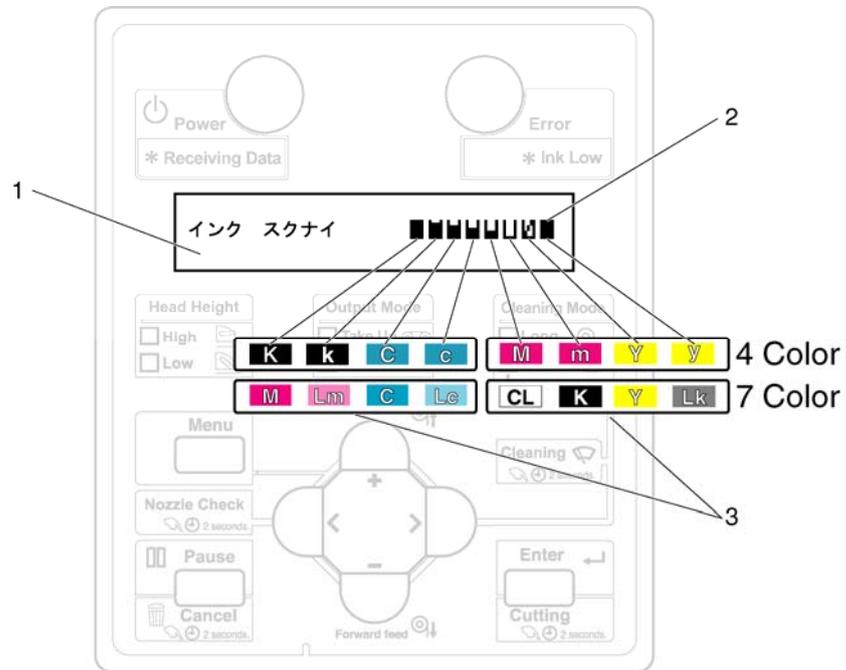
- 本書の記載内容は、ファームウェア Ver.3.06 以降に準拠しています。

章	該当箇所	変更内容	改訂履歴
2章	「2.2.4 インク量インジケータ表示」変更	別紙 3 参照	03a
3章	「3.3.1 220ml インクカートリッジを使用する場合」変更	別紙 4 参照	03a
	「3.3.2 440ml インクカートリッジを使用する場合 (VJ2638/1638)」変更	別紙 4 参照	03a
	「3.4.3 ユーザ定義の設定手順」変更	(手順 3) <注記>を変更しました。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ユーザ定義設定メニューで、以下の操作を行った場合、ユーザ定義を変更せずに用紙イニシャル動作に移行します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 操作パネルの[Cancel] キーを押した場合</li> <li>➢ 操作パネルのキー操作を 30 秒間行わなかった場合</li> </ul> </li> </ul>	03b
	「3.5.6 ヘッド調整」追加	別紙 5-6 参照	03a
	「3.6 画質調整」変更	別紙 7 参照	03a
4章	「4.3.2 パネル設定メニューの概要」	別紙 8 参照	03e
5章	「5 パネル設定メニュー」	別紙 8 参照	03e
	「5.1.1.1 ユーザ定義 詳細設定メニュー」変更	別紙 8 参照	03a
	「5.1.1.1.8 メディア厚さメニュー」追加	別紙 8 参照	03a
	「5.1.1.1.9 ユーザコピーメニュー」追加	別紙 9 参照	03a
	「5.1.6.2 ページ間余白メニュー」追加	別紙 9 参照	03c
	「5.1.17.1 ロール紙長さメニュー」変更	設定値を変更しました。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1m ~ &lt;30m&gt; ~ 200m</li> </ul>	03b
	5.1.17.2 「作画停止メニュー」追加	別紙 10 参照	03d
	5.1.17.3 「ニアエンドメニュー」追加	別紙 10 参照	03d

	「5.1.20 CR メンテナンスメニュー」変更	下記の内容を追加しました。 ・ 「CR メンテナンス： End」表示中に[-]キーを押すと、ポンプの駆動・停止を行います。	03b
	「5.1.29 スタートフィードメニュー」追加	別紙 11 参照	03c
6 章	「6.1.1 インクカートリッジの交換」変更	別紙 4 参照	03a
7 章	「7.2.1 動作状態表示」	別紙 11 参照	03e
	「7.2.2 メッセージ型エラー表示と対処方法」	別紙 11 参照	03e
8 章	「8.1.1 本体仕様」変更	別紙 11 参照	03a
9 章	「9 設定メニュー構成図」変更	別紙 12-14 参照	03d
	「9 設定メニュー構成図」変更	「CR メンテナンスメニュー」を追加しました。 別紙 15 参照	03e

### 2.2.4 インク量インジケータ表示

イラストを下記に変更します。



番号	名称
1	液晶表示部
2	インク量インジケータ
3	対応するインク色

### 3.3.1 220ml インクカートリッジを使用する場合

### 3.3.2 440ml インクカートリッジを使用する場合

## 6.1.1 インクカートリッジの交換

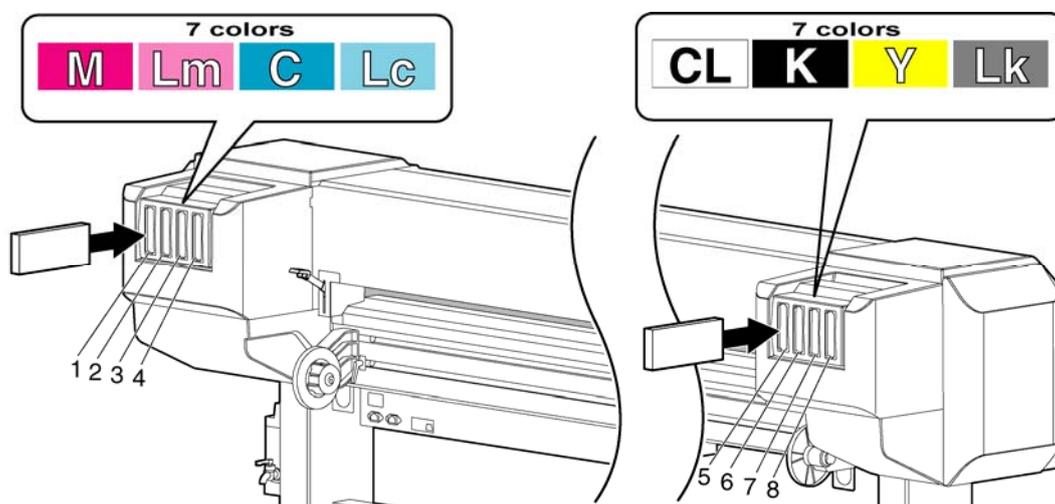
下記の変更点があります。

- ・VJ-2638 は、4 色または 7 色のインクカートリッジを使用することができます。

- ・7 色の場合は、以下のカートリッジが必要です。

- ・マゼンタ (M) : 1 本
- ・ライトマゼンタ (Lm) : 1 本
- ・シアン (C) : 1 本
- ・ライトシアン (Lc) : 1 本
- ・洗浄液 (CL) : 1 本
- ・ブラック (K) : 1 本
- ・イエロー (Y) : 1 本
- ・ライトブラック (Lk) : 1 本

- ・7 色の場合のインクカートリッジ配列は下表のようになります (440ml の場合も同じです)。



番号	名称	4 色時配列	7 色時配列
1	インクカートリッジスロット 1	ブラック (K)	マゼンタ (M)
2	インクカートリッジスロット 2	ブラック (k)	ライトマゼンタ (Lm)
3	インクカートリッジスロット 3	シアン (C)	シアン (C)
4	インクカートリッジスロット 4	シアン (c)	ライトシアン (Lc)
5	インクカートリッジスロット 5	マゼンタ (M)	洗浄液 (CL)
6	インクカートリッジスロット 6	マゼンタ (m)	ブラック (K)
7	インクカートリッジスロット 7	イエロー (Y)	イエロー (Y)
8	インクカートリッジスロット 8	イエロー (y)	ライトブラック (Lk)

### 3.5.6 ヘッド調整

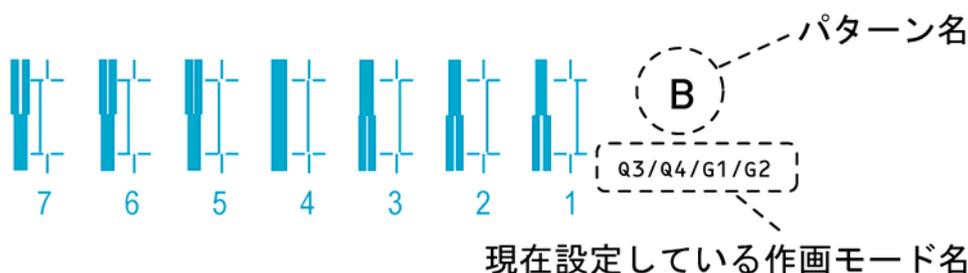
本メニューが追加されました。

プリントヘッド同士のズレを、本メニューの調整パターンの印刷結果でチェックして、ズレがあれば調整することができます。

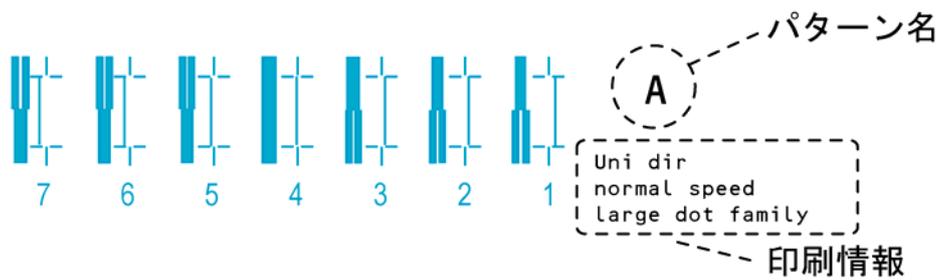
調整方式	内容
Standard	現在のユーザ定義で使用している作画モードのみを調整します。 Standardで調整したときは、RIP側の作画モードの解像度、バス数、作画方向をユーザ定義の作画モードと同じにしてください。
Custom	現在のユーザ定義で使用している作画モード以外の作画モードでも調整できます。 RIP側の作画モードがユーザ定義の作画モードと違っていても、画質が最適になります。

1. 電源を ON して、ロール紙をセットします。
2. 下記にしたがって、ヘッド調整メニューを表示させます。
  - a. [Menu]キーを押す。
    - ・画面に「メニュー1：セッテイ>」と表示される。
  - b. [-]キーを押して、「メニュー2：テストサクガ>」を選択する。
  - c. [>]キーを押す。
    - ・画面に「テスト1：ノズルチェック」と表示される。
  - d. [+]キーを押して、「テスト6：ヘッドチョウセイ>」を選択する。
  - e. [>]キーを押す。
    - ・画面に「ヘッドチョウセイ1：Standard」と表示される。
    - ・Standardで調整する場合は、手順3へすすむ。
    - ・Customで調整する場合は、fへすすむ。
  - f. [+]キーを押して、「ヘッドチョウセイ2：Custom」を選択する。
  - g. [Enter]キーを押す。
  - h. [+]キーまたは[-]キーを押して、「チョウセイ1：チョウセイ ALL」から「チョウセイ7：チョウセイパターンF」までのうち、いずれかを選択する。
    - ・「チョウセイ ALL」はすべてのパターンを調整します。RIPでどのような作画モードを使うかはっきりしていないときは、こちらを選択してください。
3. [Enter]キーを押します。
  - ・調整パターンを印刷します。
  - ・画面に「パターンB： 4」などと表示されます。
  - ・パターン名は、設定している作画モードにより異なります。

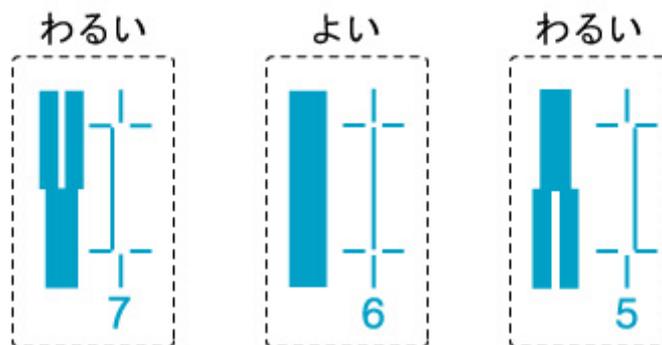
#### Standard 調整パターンの例



Custom 調整パターンの例



4. 番号 1 から 7 のうち、直線にズレがない番号を選択します。
- ・直線にズレがない番号は、その左隣の太線に白い縦線がありません。

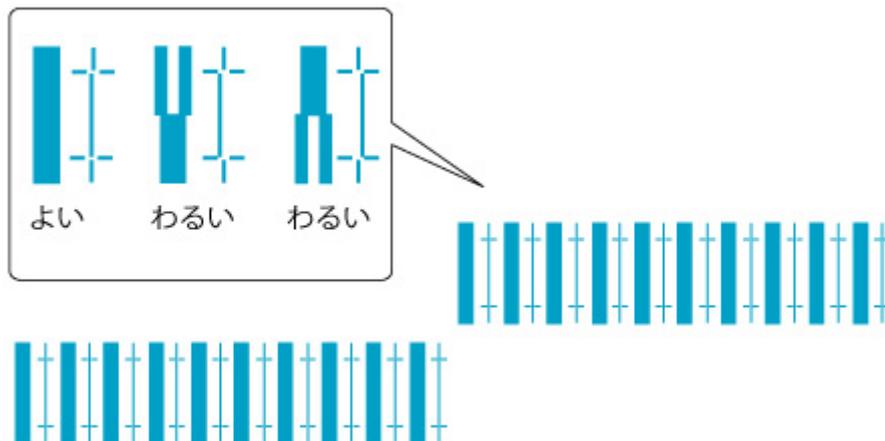


5. [+]キーまたは[-]キーで、手順 4 で選んだ番号を入力します。
6. [Enter]キーを押して確定します。

### 3.6 画質調整

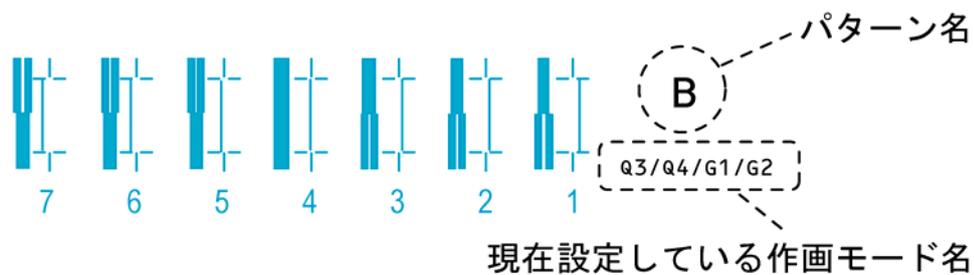
下記の変更があります。

- メディア厚さの入力が追加されました。  
「\*\*>2: チョウセイサクガ>」を選択して[>]キーを押すと、「メディアアツサ 170μm」と表示します。ここで、操作パネルの[+]キーまたは[-]キーを押して、使用するメディアの厚さを 80μm～2800μmの範囲で入力し、[Enter]キーを押してください。後の操作は同じです。
- 確認パターンと調整パターンが変更されました。
  - 直線にズレがない番号は、その左隣の太線に白い縦線がありません。

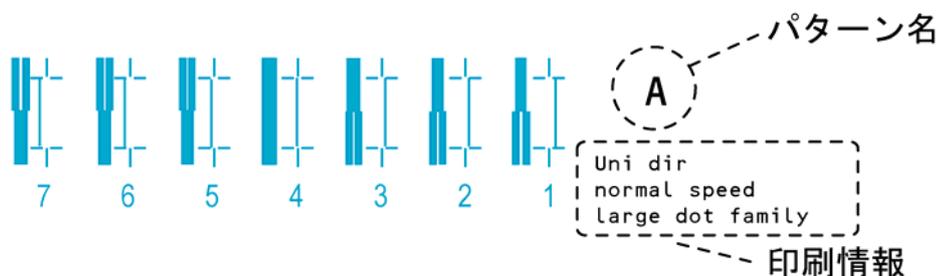


- Custom 粗調整パターンでも、個別にパターン調整ができるようになりました。  
「チョウセイサクガ 2: Custom」で[Enter]キーを押した後、「ソチョウセイパターン A」～「ソチョウセイパターン F」から選択してください。「ソチョウセイ ALL」はすべてのパターンを調整できます。
- 調整パターンの右側に情報が追加されました。

#### Standard 調整パターンの例



#### Custom 調整パターンの例



### 4.3.2 パネル設定メニューの概要

下記の項目が追加されました。

設定項目	内容
CR メンテナンス (Ultra Value インク使用時のみ表示します。)	メンテナンス処理を行います。

## 5 パネル設定メニュー

下記の項目が追加されました。

設定項目	内容
CR メンテナンス (Ultra Value インク使用時のみ表示します。)	メンテナンス処理を行います。 ☞ 5.1.20 CR メンテナンスメニュー

### 5.1.1.1 ユーザ定義 詳細設定メニュー

下記を、表中の「吸着ファン」の下に追加してください。

設定項目	設定値	内容
Type 1 ~ Type 15	メディア厚さ	使用する用紙の厚さを設定します。 ・ [Enter] キー：次階層のメニューに進みます。
	ユーザコピー	現在選択されているユーザ定義について、その設定値を別のユーザ定義に一括してコピーします。 ・ [Enter] キー：次階層のメニューに進みます。

#### 5.1.1.1.8 メディア厚さメニュー

使用する用紙の厚さを設定します。

メディア厚さを入力すると、画質が自動的に調整されます。

設定項目	設定値	内容
メディア厚さ	80 $\mu$ m ~ <170 $\mu$ m> ~ 2800 $\mu$ m	10 $\mu$ m 単位で、使用する用紙の厚さを入力します。
	-	・ [Enter] キー：設定値を保存し、前階層のメニューに戻ります。 ・ [Cancel] キー：設定値を取消し、前階層のメニューに戻ります。 ☞ 5.1.1.1 ユーザ定義 詳細設定メニュー

#### 注 記

- 本メニューは、ある程度の画質調整を自動で行うためものです。より画質を高めたい場合は、画質調整を手動で行ってください。☞ 3.6 画質調整
- メディア厚さを設定せずに画質調整を行っても問題ありません。

### 5.1.1.1.9 ユーザコピーメニュー

現在選択されているユーザ定義について、その設定値を別のユーザ定義に一括してコピーします。以下の設定値がコピーされます。

- ・ 作画モード
- ・ エフェクト
- ・ 調整作画の調整値
- ・ 送り補正（初期調整作画長、初期調整値、微調整値）
- ・ プリ/プラテン/アフターヒーター（1638Xのみ）
- ・ 吸着ファン
- ・ メディア厚さ

設定項目	設定値	内容
ユーザコピー	<1> ~ 15、ALL ユーザ定義が1の場合： <2> ~ 15、ALL	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 現在のユーザ定義の設定値を、選択したユーザ定義にコピーします。</li> <li>・ ALLを選択した場合は、現在のユーザ定義の設定値を、他のすべてのユーザ定義にコピーします。</li> </ul>
	-	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ [Enter] キー：コピーを実行し、前階層のメニューに戻ります。</li> <li>・ [Cancel] キー：コピーを実行せず、前階層のメニューに戻ります。</li> </ul>  5.1.1.1 ユーザ定義 詳細設定メニュー

### 5.1.6.2 ページ間余白メニュー

排紙モード設定を「巻取り」に設定すると、ページ間余白メニューに移行します。

ページ間余白メニューでは、印刷結果どうしの間余白を変更できます。

設定項目	設定値	内容
ページ間余白	<通常>	作画間の余白を変更しません。
	狭い	作画間の余白が「通常」よりも狭くなります。
	-	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ [Enter]キー：設定値を保存し、次階層のメニューへ進みます。</li> <li> 「5.1.6.1 インク乾燥時間メニュー」</li> <li>・ [Cancel]キー：設定値を取り消し、前階層のメニューに戻ります。</li> <li> 「5.1.6 排紙モードメニュー」</li> </ul>

### 5.1.17.2 作画停止メニュー

プリンターの内部でカウントしているロール紙の長さの値がゼロになったときに、「ロールシ ザンリョウ エラー」を表示して印刷を停止するかどうかを設定します。

#### 注 記

- ・通常はロール紙が終わるとリアセンサーで検出されるため、「Off」設定で問題ありません。
- ・使い切った時に紙管から紙が離れにくいタイプのロール紙だと、作画停止メニューを「Off」に設定していると、ロール紙が終わったときに印刷が停止しないことがあります。そのような場合は、「On」に設定してください。
- ・作画停止メニューを「On」に設定していて、「ロールシ ザンリョウ エラー」や「ロールシ ニアエンド」が発生している場合、新しいロール紙に変更後に用紙セットレバーを下げるとロール紙の長さ設定メニューが表示されます。セットしたロール紙の長さを入力してください。

設定項目	設定値	内容
作画停止	<Off>	印刷の停止判定にロール紙の残量カウントを使用しません。リアセンサーが反応した場合に印刷が停止します。 ・[Enter]キー：設定値を保存し、前階層のメニューに進みます。  取扱説明書「5.1.17 ロール紙長さ設定メニュー」
	On	リアセンサーが反応しない場合でも、ロール紙の残量カウントがゼロになると印刷を停止します。 ・[Enter]キー：設定値を保存し、次階層のメニューに進みます。  取扱説明書「5.1.17.3 ニアエンドメニュー」
	-	・[Cancel]キー：設定値を取消し、前階層のメニューに戻ります。  取扱説明書「5.1.17 ロール紙長さ設定メニュー」

### 5.1.17.3 ニアエンドメニュー

プリンターの内部でカウントしているロール紙の長さがゼロになる前に「ロールシ ニアエンド： \*m」（\*は1～10の数字）を表示させることができます。

設定項目	設定値	内容
ニアエンド	<Off>	「ニアエンド」を表示しません。
	ノコリ 10m～1m	長さを選択すると、ロール紙の残量カウントがその長さになった時に「ニアエンド」を表示します。
	-	・[Enter]キー：設定値を保存し、前階層のメニューに戻ります。  取扱説明書「5.1.17 ロール紙長さ設定メニュー」 ・[Cancel]キー：設定値を取消し、前階層のメニューに戻ります。  取扱説明書「5.1.17.2 作画停止メニュー」

### 5.1.29 スタートフィードメニュー

スタートフィードを設定しておく、印刷前にメディアの巻き戻しや送り出しを、設定値の長さだけ行います。

設定項目	設定値	内容
スタートフィード	-10mm～<0mm>～500mm	印刷前のメディアの巻き戻し量や送り出し量を設定します。 ・ 値が 0 以上：送り出しを行います（印刷開始前の余白が多くなります）。 ・ 値が 0：巻き戻しも送り出しも行いません。 ・ 値が 0 以下：巻き戻しを行います。
	-	・ [Enter] キー：設定値を保存し、前階層のメニューに戻ります。 ・ [Cancel] キー：設定値を取消し、前階層のメニューに戻ります。 ⓘ 「5.1 設定メニュー」

#### 注 記

- 巻取り装置をご使用の場合に「スタートフィード」を 0 未満に設定するときは、「ページ間余白」メニューを「狭い」に設定してください。「通常」のままだと、「スタートフィード」での設定値が正しく反映されません。

ⓘ 「5.1.6.2 ページ間余白メニュー」

### 7.2.1 動作状態表示

下記の項目が追加されました。

番号	表示	内容	参照
24	CR メンテナンス シテクダサイ	クリーニングワイパーやプリントヘッド外周部等を清掃してください。 ⓘ VJ-ULVA インク使用時のメンテナンス（別紙）	ⓘ 5.1.20 CR メンテナンスメニュー

### 7.2.2 メッセージ型エラー表示と対処方法

下記の項目が追加されました。

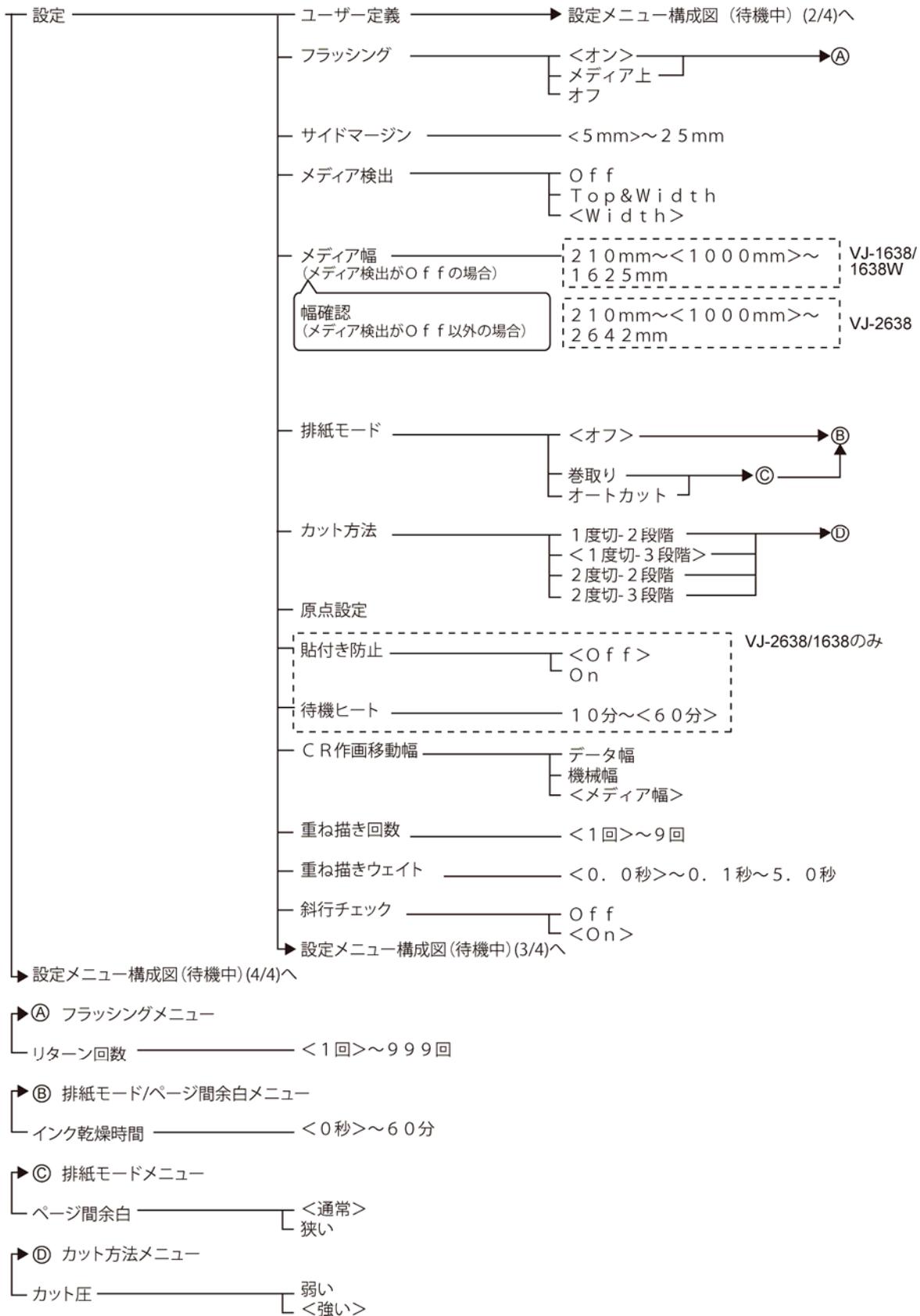
番号	表示	内容	対策	参照
39	インク クミアワセエラー	適切でないインクカートリッジ／スマートチップが挿入されています。	お買い求めの MUTOH 製品取扱店または、MUTOH 各営業所にお問い合わせください。	ⓘ 8.4.1 製品に関するお問い合わせ窓口

### 8.1.1 本体仕様

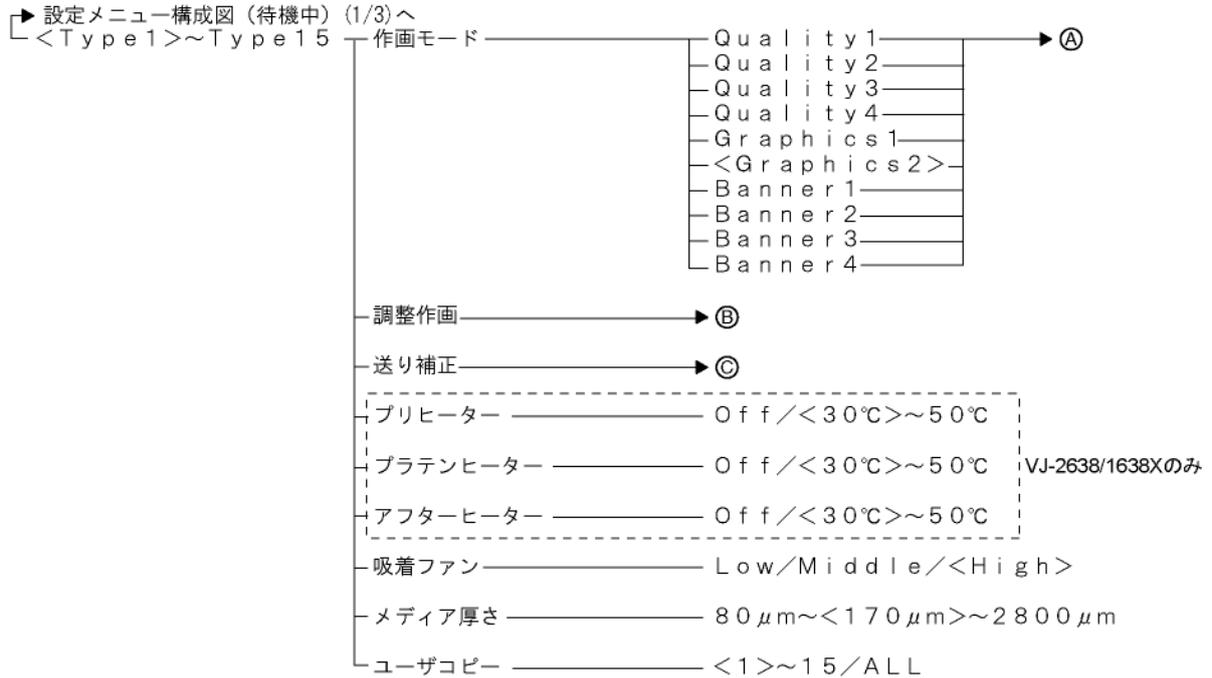
下表の変更があります。

項目		仕様		
型式名称		VJ-1638W	VJ-1638	VJ-2638
インク	カートリッジ	ブラック、シアン、マゼンタ、イエロー：各色 220ml ± 5ml	ブラック、シアン、マゼンタ、イエロー（以上 4 色の場合）、ライトブラック、ライトシアン、ライトマゼンタ（以上 7 色の場合）：各色 220ml ± 5ml または、440ml ± 5ml（オプションの大容量パックアダプタ使用時、1000ml ± 5ml）	

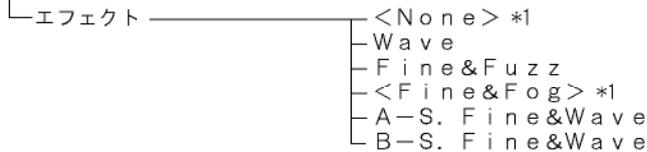
# 設定メニュー構成図（待機中）（1/4）



# 設定メニュー構成図（待機中）（2/4）



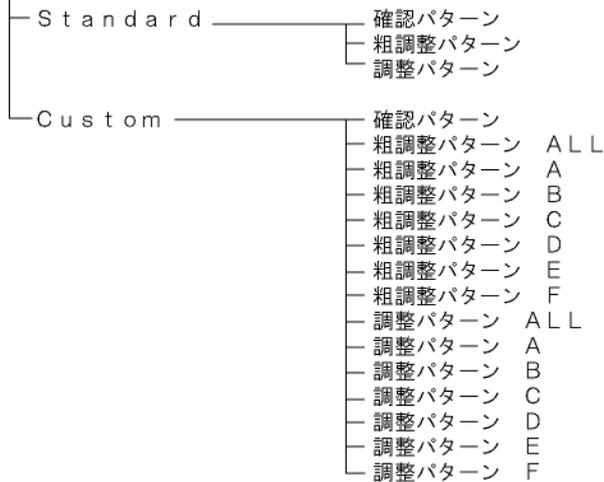
▶ ① 作画モードメニュー



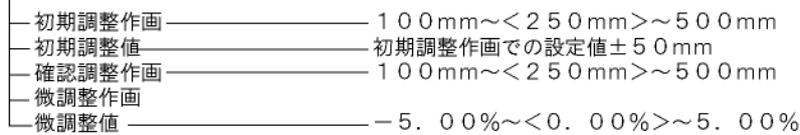
\*1 初期値は作画モードによります

作画モード	エフェクト初期値
Quality 1~4	Fine & Fog
Graphics 1~2	
Banner 1~2	
Banner 3~4	None

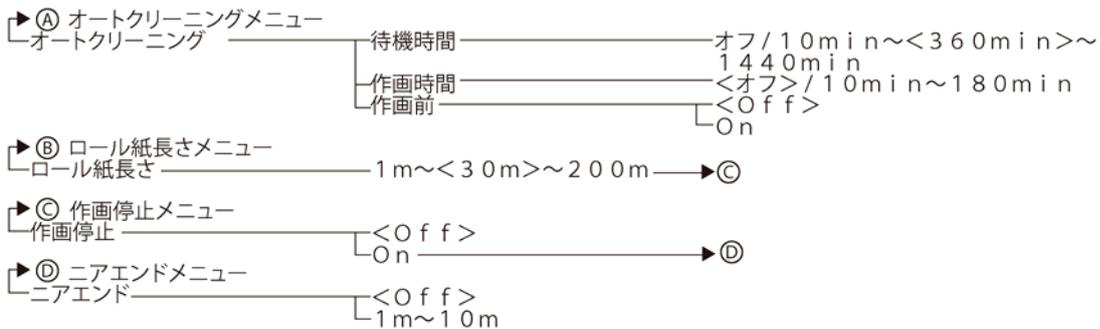
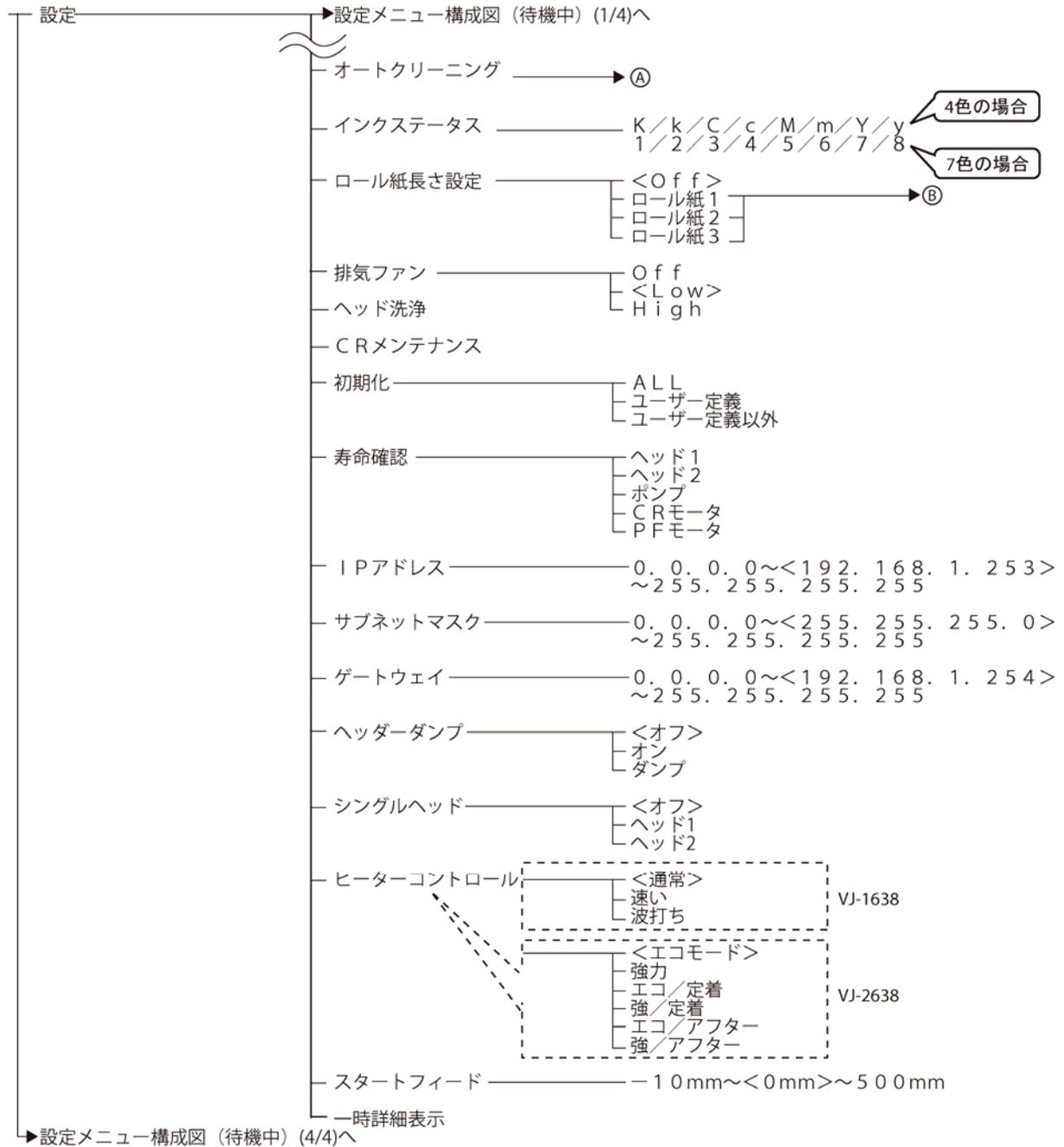
▶ ② 調整作画メニュー



▶ ③ 送り補正メニュー



# 設定メニュー構成図（待機中）（3/4）



# 設定メニュー構成図（待機中）（4/4）

